

令和2年度「龍野商工会議所経営発達支援事業」評価報告書

●龍野商工会議所経営発達支援事業評価

【評価委員】

- 佐藤浩史氏（中小企業大学校関西校校長）
久保幸一氏（株式会社日本政策金融公庫姫路支店国民生活事業支店長兼国民生活事業統轄）
久野洋貴氏（兵庫県西播磨県民局県民交流室長）
松本貴史氏（公益財団法人ひょうご産業活性化センター経営推進部長）
西田豊和氏（たつの市産業部長）

I. 経営発達支援事業

1. 地域の経済動向調査に関すること		
実施計画		
四半期に一度当所が実施している地域景気動向調査や日本商工会議所L O B O調査等の結果を整理・分析し、小規模事業者へ情報提供する。 (1) 龍野地域景気動向調査 (2) 日本商工会議所L O B O（早期景気観測）調査 (3) 西播磨の経済指標		
項目	2年度目標	2年度実績
調査結果を情報提供する事業所数	600	606
実施内容		
(1)当所会員企業(130社)へ四半期(5月・8月・11月・2月)に1度実施している景気動向調査結果をメール、FAXにて情報提供を行った。 配信日 5月29日(金)、9月2日(水) 配信先 メール 583社・FAX 23社		
(2)月に1度管内企業12社へ業況・売上・採算などの状況及び業界として直面する問題や今後の見通しを調査するL O B O（日本商工会議所早期景気観測）調査と、兵庫県西播磨県民局が配信する西播磨地域における金融機関貸出残高、信用保証額、地場産業（醤油・皮革）出荷量等の15項目からなる経済指標結果をメール、FAXにて情報提供を行った。 配信日 4月30日(木)、5月29日(金)、7月7日(火)、8月6日(木)、9月2日(水) 配信先 メール 583社・FAX 23社		
迷惑メールの流行の影響もあり、10月よりメールでの配信は中止しているが、会報龍野にて調査結果を紹介した。		
評価		
<ul style="list-style-type: none">・目標を達成しており、評価できる・目標値を達成したことについては評価できる。新型コロナ禍における地域の経済状況の把握、情報提供は事業者にとって非常に有益である。今後の有効な発信方法についても検討をお願いしたい。・情報提供については、定期的に一定の内容を提供している。提供している事業者数も年々増加し、令和2年度実績は28年度比で2.5倍に迫る数値となっており、評価できる。今後も、事業者のニーズに沿った情報の内容や提供のタイミング等見直しも含めた継続が期待される。・K P Iは達成している。(昨年度 K P I から 100 社増) この情報提供によって具体的にどのような効果があったか、あるいはどのような効果を期待したか等について言及してほしい。また、メール配信を中止にして会報に掲載するだけでは、		

当該項目の目的が完遂されるのかがやや疑問である。

- ・目標値を前年度より高く設定し、なおかつ、達成できており評価できる。
会員事業所からの情報活用事例や収集したデータ活用についても考えていく必要があると思う。

2. 経営状況分析に関すること

実施計画

巡回・窓口相談等により企業概要や顧客ニーズと市場の動向、商品・サービスの強みについて経営分析を行い、持続的発展に向けた経営改革を支援する。

- (1) 小規模事業者の経営分析を行う
- (2) 専門的な課題は専門家による分析を進め、経営戦略を提案する
- (3) 経営分析結果を文章化・数値化し、経営改革や事業計画作成の基礎的資料とする

項目	2年度目標	2年度実績
巡回件数	850	1,445
窓口及び巡回等によるピックアップ事業所数	75	144
経営カルテ書き込み事業所数	55	88
専門家による経営分析事業所数	6	18

実施内容

(1) 延べ1,445社を巡回訪問し144社を経営分析支援候補としてピックアップ。88社に、事業の沿革と内容、課題、取巻く環境等についてヒアリングを行なった。ヒアリング内容を基にSWOT分析等により経営状況の分析を行った。

(2) 専門家による経営分析

① 相談会

日時 5月12日(火)・13日(水)10時～16時

専門家 田坂経営労務事務所 代表・中小企業診断士 田坂和彦氏

参加者 8社

② 専門家派遣(1社)

日時 9月25日(金)13時～16時

専門家 ヌタカ経営 代表 南山豊氏

③ 相談会

日時 11月5日(木)10時～16時

専門家 田坂経営労務事務所 代表・中小企業診断士 田坂和彦氏

参加者 4社

④ 専門家派遣(1社)

日時 11月17日(火)13時～16時

専門家 永田システムデザイン事務所 永田知靖氏

⑤ 専門家派遣(1社)

日時 1月25日(月)14時～17時

専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表 野崎幸雄氏

⑥ 専門家派遣(1社)

日時 1月29日(金)14時～17時

専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表 野崎幸雄氏

⑦ 専門家派遣(1社)

日時 2月4日(木)14時～17時

専門家 オフィスイーグレイション 代表 吉村好広氏

⑧ 専門家派遣(1社)

日時 2月5日(金)13時30分～16時30分

専門家 元気カンパニー仕事研究所 代表 野崎幸雄氏

評 価

- ・4項目すべての目標を達成しており、評価できる。
- ・全ての項目で目標値を大幅に上回っており、評価できる。事業者の経営分析、課題の把握は事業者気づきを与え、事業を維持・発展させるために重要なものです。今後はさらに重要な意味を持つことになると考えられる。引き続き積極的に取り組んでいただきたい。
- ・いずれの支援項目についても目標値を大幅に上回る実績を上げており、評価できる。
とりわけ巡回相談はこれまでで最も高い数値となっており、今後も小規模事業者へのきめ細やかなフォローアップや新たな対象事業所の掘り起こしを期待したい。
- ・K P Iは達成している。
目標値を大きく上回っており評価できる。
一方、現在までに経営分析や専門家派遣を行った事業所の、効果発現事例等について言及してほしい。
- ・すべての項目において高い目標値を達成している。特に巡回件数及びピックアップ事業者数が前年度を大きく上回っており。評価できる。
収集した情報を分析し、会員への支援に繋がりたい。

3. 事業計画策定支援に関すること

実施計画

経営分析結果に基づき、小規模事業者の事業計画策定を支援する。

- (1)巡回等によりピックアップした小規模事業者の経営計画作成を支援する
- (2)経営分析を行なった事業者の事業計画作成支援を行う
- (3)経営計画作成支援セミナーを実施する

項 目	2年度目標	2年度実績
窓口及び巡回等によるピックアップ事業所数	80	91
経営指導員等による事業計画策定支援事業所数	40	74
経営計画作成支援セミナー受講者数	12	14

実施内容

- (1)事業所ピックアップ 91社
- (2)経営分析結果に基づき、経営資源、事業環境等を考慮して優先順位も加味した事業計画の策定支援を74社に行なった。
- (3)経営計画策定セミナー
日 時 9月8日(火)・10日(木)・15日(火)・17日(木)
いずれも18時30分～20時30分
会 場 龍野経済交流センター2階セミナー室
講 師 UT. マネジメントオフィス 代表 木之下尚令氏
受講者 14名

評 価

- ・3項目すべての目標を達成しており、評価できる。
- ・全ての項目で目標値を上回っており、評価できる。経営分析→事業計画策定支援は、事業者が自社の内部、外部環境を改めて見直し、今後どのように進めていくべきかを考える良い機会である。今後も積極的に取り組んでいただきたい。
- ・経営分析結果に基づいた事業計画の策定支援をすることができており、また3項目全てにおいて目標を上回っており、評価できる。
事業計画の策定支援等の効果についても言及してあるとなお良いと思われる。
- ・K P Iは達成している。

前項同様、昨年までに事業計画策定支援を行った事業者の、効果発現事例等について言及してほしい。

- ・すべての項目において、目標値を達成しており、特に事業計画作成支援事業件数が毎年大幅に実績を達成しており、評価できる。
- ・すべての項目において、目標値を達成しており、特に事業計画作成支援事業件数が毎年大幅に実績を達成しており、評価できる。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

実施計画

事業計画策定事業者を対象に、2ヶ月に1回程度巡回相談等を実施し、事業計画の進捗や問題点の把握・整理を行うことで、計画とのギャップを明確にし、PDCAサイクルを回しながら目標達成へ導く。

- (1) 事業計画を作成した事業所の巡回・窓口相談を実施する
- (2) 毎月の経営指導員ミーティングで情報の共有を図る
- (3) 「兵庫県よろず支援拠点」や「中小機構近畿本部」と連携し、専門家を事業所へ派遣する

項目	2年度目標	2年度実績
事業計画実施フォローアップ事業所数	40	48
専門家派遣による販売チャンネル構築支援事業所数	7	7

実施内容

(1) 45社に対して、事業計画の進捗状況確認、実施に当たっての課題確認と解決に向けた支援、新たに発生した課題の抽出と解決に向けた支援を実施した。その内7社については、専門家による販路開拓に向けた具体的な方策をアドバイスした。また専門家窓口相談会により10社に対し、販路開拓支援を行った。

(2) 新たに発生した課題や問題解決に向け、経営指導員4名がミーティングを実施した。

新型コロナウイルスの事業者への影響や支援策等を情報共有するため実施。

4月1日(水)・2日(木)・3日(金)・6日(月)・7日(火)・8日(水)・9日(木)・10日(金)・13日(月)・14日(火)
 15日(水)・16日(木)・17日(金)・20日(月)・21日(火)・22日(水)・23日(木)・24日(金)・27日(月)
 28日(火)・30日(木)・5月1日(金)・7日(木)・8日(金)・11日(月)・12日(火)・13日(水)・14日(木)
 15日(金)・18日(月)・19日(火)・20日(水)・6月17日(水)・26日(金)・7月10日(金)・17日(金)・22日(水)
 31日(金)・8月7日(金)・21日(金)・28日(金)・9月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金)
 10月2日(金)・9日(金)・16日(金)・23日(金)・29日(木)・11月6日(金)・13日(金)・20日(金)・27日(金)
 12月4日(金)・11日(金)・18日(金)・25日(金)・1月8日(金)・15日(金)・22日(金)・2月19日(金)
 3月11日(木)

(3) ものづくり・商業・サービス補助金申請支援

1件 10,000千円

(4) 小規模事業者持続化補助金申請支援

31件 27,149千円

(5) 先端設備等導入計画申請支援

2件 20,875千円

(6) たつの市創業支援事業補助金申請支援

6件

(7) 経営力向上計画申請支援

1件

(8) 事業継続力強化計画

1件

評価

- ・2項目全ての目標を達成しており、評価できる。
- ・事業計画策定後のフォローアップは、外部機関や補助金の活用などを含めて積極的に取組まれており、評価できる。経営指導員同士の課題共有や解決策の模索等の取組みについても、広く知見を活用でき、PDCAを回す良い取組みとなっている。今後も取組みを継続していただきたい。
- ・両項目とも目標を達成しており、評価できる。とりわけ、経営指導員によるミーティングが多数実施されており、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収束しない中、事業者の支援に向けた取組みの強化に尽力されていることがうかがえる。また、専門家窓口相談会により10社に販路開拓支援を行っており、積極的な支援の取組みが認められる。
数値目標にはないが、補助金申請にいたった事業者もあり評価できる。
今後も事業者のステージや課題に応じて計画の見直しや修正等も必要となってくるので定期的なフォローアップを推進するなど継続して支援していただきたい。また、創業については、フォローアップ、課題解決に向けた不断の支援を行う必要がある。
- ・KPIを達成している。
フォローアップ事業所数は目標値を上回り、大半の企業が持続化補助金をはじめ、何らかの支援制度獲得に結び付いており、大いに評価できる。
- ・小規模事業者持続化補助金支援件数が年々大きく伸びており、期待、評価できる。
成功事例等の情報を共有することで相乗効果を期待したい。

5. 需要動向調査に関すること

実施計画

日経テレコン21の活用やマーケティング会社と連携し、売れ筋動向等を収集・整理・分析し小規模事業者に提供する。

- (1) POS情報等、商品やサービスの需要動向などに関する情報を提供する
- (2) ネットモニター調査により、販売商品や提供サービスのニーズ等需要動向を調査・提供する
- (3) マーケティング会社と連携し、販売商品やサービスの市場調査を行なう
- (4) 皮革製品展示即売会の出展業者へのアンケートを実施する

項目	2年度目標	2年度実績
日経テレコン21による調査数	50	54
ネットモニターによる調査数	15	12
マーケティング会社調査数	3	1

実施内容

- (1) 日経テレコン21を利用し、事業所が販売しようとする商品やサービスの需要動向や業界情報等を54社へ提供した。
- (2) 市民50名にインターネットを使い、4月は「キャッシュレス決済」、5月は「感染症流行中の消費行動」、6月は「食品の購入」、7月は「理・美容、飲食店の利用状況」、8月は「観光」、9月は「商品の購入方法」、10月は「外出に関する動向」、11月は「コロナ禍での消費動向」、12月は「コロナ禍での消費動向について②」、1月は「新型コロナウイルス感染症の予防対策」、2月は「職場での感染症対策」、3月は「インターネットの利用」をテーマにアンケート調査を実施し、当所会報・ホームページで会員事業所へ周知した。
- (3) 専門家による市場分析1件に加え、市場分析ソフト導入により当所経営指導員が当サービスを恒常的に提供できる体制を整備し、3件の分析を行った。

評 価

- ・ 3項目のうち1つの目標を達成している、未達であった「ネットモニターによる調査数」は昨年度実績と同数であったこと、「マーケティング会社調査数」も昨年度同様に職員による分析で補完されており、全体として概ね評価できるとしたい。
- ・ 3つの目標値に対して1つの目標値達成となっているものの、「マーケティング会社調査数」においては、実績は1件となっているが、経営指導員による市場分析ソフトによるマーケティング支援が実施されており、取組みは評価できる。ネットモニターによる調査については、適時適切なテーマでアンケートが実施されており、今後も地域の状況を踏まえたテーマでのアンケートをお願いしたい。
- ・ 目標値を下回っている項目もあるが、「マーケティング会社調査数」においては経営指導員による分析も補完的に行うなど工夫が見られる。
アンケート調査については、新型コロナウイルス関連など時節等に応じたテーマで実施しているが、テーマによってはモニターを増加する等の幅広い展開を期待するとともに、その調査結果の活用についても期待する。
今年度は、皮革製品展示即売会が中止となり、出展業者へのアンケートができなかったことが残念である。
- ・ K P I はほぼ達成できている。
アウトカムに関する記述がほしい。
- ・ アンケート調査については、コロナ禍での市場調査など消費者の動向を調査、分析できている。
調査後の経営に対しても更なる支援をしていただきたい。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

実施計画

IT活用に向け支援し情報発信力を強化すると共に、展示会等への出展効果を高める来場者への対応スキル習得支援や近隣商工会議所との連携出展など、直接売上アップに繋がる取組みを実施する。

- (1) 皮革製品展示即売会を開催する
- (2) 東京インターナショナルギフトショー(9月)へ兵庫県下18商工会議所が連携し出展する
- (3) 兵庫県商工会議所連合会主催の「販路開拓市・商談会」へ参加する
- (4) 展示会、即売会等へ出展時に、レイアウトやPOP作成法などのセミナーや個別支援を実施する
- (5) 東京インターナショナルギフトショー(2月)へ出展する
- (6) SNS活用やブログ・HPに掲載する文章力向上セミナー、写真撮影講座等を開催する
- (7) インターネットモール『西播磨特産館』や『播磨 Navi』などで情報発信を図る

項 目	2年度目標	2年度実績
皮革製品即売会出品事業所数	35	
皮革製品即売会来場者数	5,000	
東京インターナショナルギフトショー(9月開催分)出店者数	5	
東京インターナショナルギフトショー(9月開催分)出店者商談数	35	
「販路開拓市」参加事業所数	7	7
「販路開拓市」参加事業所商談数	21	15
東京インターナショナルギフトショー(2月開催分)出店者数	10	
東京インターナショナルギフトショー(2月開催分)出店者商談数	70	
情報発信力支援企業数	35	46

実施内容

- (1) 皮革製品展示即売会「たつのレザー展示即売会」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大ため急遽中止とした。

(2) 播州皮革工業(協)が常設展示・直売場を運営
営業時間 10時～16時

(3) 販路開拓市・商談会

① 兵庫・神戸アライアンス商談会ーOnlineー
期 間 2月12日(金)～2月26日(金)
エントリー企業 1社 商談数 1件

② はりまもん商談マーケット
日 時 2月16日(火)13時～17時
会 場 姫路商工会議所1階展示場、2階大ホール
出展企業 6社 商談数 14件

(4) 展示会商談力向上セミナー

出展予定の展示会が中止になったため、コロナ禍を生き抜くために収益分析の手法を学ぶセミナーを開催。自社の強みを発揮する製品を再認識することでターゲットを明確にし、今後の展示会出展を含め事業の組立の参考とした。

皮革経営セミナー(全2回)

日 時 10月22日(木)・11月9日(月) いずれも17時30分～19時30分
会 場 龍野経済交流センター2階セミナー室
講 師 元気カンパニー仕事研究所 所長 野崎幸雄
受講者数 10名

(5) 展示会出展支援

東京インターナショナルギフトショーから、当地の革製品が家具や雑貨など生活の場面での活用提案できるIFFT/インテリアライフリビング(10月)へ振り替えたが、新型コロナウイルス感染者の拡大を理由に開催中止となったため出展を見送った。

(6) 情報発信力支援

自社商品や製品、サービスのPRや販路拡大を支援するインターネットモール『西播磨特産館』により情報発信した。

出店者数 27社 211品目(4月1日(水)～11月16日(月))

新型コロナウイルス感染拡大の影響で外出自粛が続く中、飲食店のオリジナルテイクアウト商品情報を発信した。

出品数 19商品(5月22日(金)～11月16日(月))

評 価

- ・計画されていた「即売会」や「展示会」の開催が中止されこれらに関する評価は不能としたい。また、「販路開拓市」の参加事業所数は目標を達成、商談数は未達となった。「情報発信力支援企業数」は目標を達成している。以上をふまえて、全体として概ね評価できるとしたい。
- ・新型コロナの影響を受け、実施計画にあった出店についてはほとんど中止となっており、目標値は達成していないものの、販路開拓にかかる商談会やインターネットモールによる情報発信等への積極的な支援は評価できる。今後も新たな販路拡大に向け、さまざまな手法を駆使して販路開拓支援に取り組んでいただきたい。
- ・新型コロナウイルスの影響でイベントの中止が相次ぐなか、「情報発信力支援企業数」は目標値を上回っている。インターネットモールを活用し、商品情報にも工夫をこらすなどの取り組みに力を注いだ成果だとうかがえる。今後も、ウィズコロナの時勢に柔軟に対応しつつ、販路開拓及びPR、商談につながる場と機会を多数設けていく必要があると考える。
「販路開拓市・商談会」等において、商談成立等の実績を把握し、検証に活かすとなお良い。
- ・K P Iに未達の項目が散見される。
コロナ禍による展示会出展中止など、やむを得ない事情によるものと思料する。
イベント中止、出展中止の代替事業として行ったことを記述されたい。

・コロナ禍の影響があり、出展等が開催できなかったが、今後そのような中でも直接売上アップに繋がる新たな取組みが必要と考える。
 様々な機会をとらえ展示会への出展支援による販路拡大に努めてもらっている。コロナ禍ではあるが、積極的な情報提供を行いたい。

II. 地域活性化事業

実施計画		
学習型・体験型観光「ニューツーリズム」や「街の賑わい創出支援事業」を通じて、地域の観光、商業、サービス業の維持・拡大を図る。 (1) 関係機関と情報連絡会を開催する (2) たつの市主催のイベントに参加し交流人口の増加を図る (3) 龍野地域産業・文化周遊ツアーを実施する (4) 街ゼミやグルメラリーなど街の賑わい創出事業を行う		
項目	2年度目標	2年度実績
市内観光入込者数(千人)	2,090	
市内商業販売高(億円)	1,552	
実施内容		
(1) 地域連絡会の開催 関係機関と地域活性化事業について情報連絡会を実施した。 6月2日(火)・7月7日(火)・8月6日(火)・9月1日(火)・10月6日(火)・11月10日(火)・3月8日(月)		
(2) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、たつの市民まつりが中止となったため実施を見送った。		
(3) 龍野地域産業・文化周遊ツアーを9月より全3回の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み中止とした。		
(4) 龍野のお店応援事業 <ul style="list-style-type: none"> ① お持ち帰り&出前【緊急特集号】 来店客数が激減した飲食店が新たな販売手段として取り組んでいる持ち帰りや出前を周知するチラシを作成。当所会員事業所への郵送をはじめ、HP・メールマガジンの配信等により地元企業や市民へPRした。 体 裁 A4両面カラー(2,000部) 掲載数 14店舗 配布日 4月24日(金) 配布先 (1)会員事業所へ郵送 約1,200部 (2)掲載店舗にて配布 約800部 ② 龍野のお店応援スタンプラリー 集客減に歯止めがかからない市内飲食店を支援するため、テイクアウト・デリバリー情報を掲載したチラシを作成し、新聞折込み・当所HPへ掲載し広くPRを行った。 体 裁 A4両面カラー(30,000部) 参加数 10店舗 配布数 (1)新聞折込み(市内日刊5紙 約27,000部) (2)会員事業所へ郵送 約1,200部 (3)参加店舗にて配布 約1,800部 実施期間 5月22日(金)～6月1日(月) 実施内容 参加店舗のスタンプを2つ集めた方を対象に抽選で、参加店で使用できる1,000円分の食事券を進呈した。 当 選 数 69名 ③ ガンバルお店応援券発行 飲食店や理・美容院などで利用できる30%プレミアム付き商品券を会員事業所対象に発行した。 体 裁 A4版12頁カラー(2,000冊) 		

取扱数 59店舗
配布先 (1)会員事業所へ郵送 約1,200部
(2)取扱店にて配布 約800部
使用期間 6月8日(月)～7月12日(日)
販売数 516冊(1冊5,000円(500円×13枚綴り))

④たつのグルメ巡りスタンプラリー

たつの市の「たつのふるさと応援グルメ券」発行に合わせ、市民が楽しく地元飲食店等を巡るスタンプラリーを実施。期間中スタンプを5つ集めた方を対象に地元特産品が当たる抽選会を開催した。

体裁 A4版12頁カラー(35,000部)
参加数 40店舗
配布先 (1)新聞折込み(市内3紙 約24,400部)
(2)グルメ券購入者への配布 約3,200部
(3)参加店舗での配布 約1,200部
(4)会員事業所へ郵送 約1,200部

実施期間 7月14日(火)～8月29日(土)

抽選会 8月30日(日)10時～

会場 龍野経済交流センター1階

応募者数 355名

⑤龍野お店巡りパスポート

小売・飲食・サービス業を対象に、100円、500円、1,000円、10,000円など、「ポッキリ価格」の各店オリジナル商品やサービスを掲載した冊子を作成し全戸配布した。また、掲載店舗を巡り3つスタンプを集めた方を対象に抽選で、参加店舗で利用できる食事券等が当たるスタンプラリーを実施した。

体裁 A5版12頁カラー(35,000部)

掲載数 42店舗

発行日 11月3日(火)

期間 11月3日(火)～30日(月)

応募数496名 当選数151名

評価

- ・本事業に関する活動に取り組んでいることは評価したい。
- ・新型コロナの影響を受け、各種イベント、周遊ツアーが中止となっているなか、地域のお店を盛り上げるために工夫を凝らしたさまざまな企画、仕掛けづくりに積極的に取り組み、実績を上げたことは非常に評価できる。今後も地域を盛り上げ、龍野の地域活性化に取り組んでいただきたい。
- ・集客数が激減した飲食店への支援において、スタンプラリー等市民がお店に行きたくなくなるような工夫をこらしており、今後も見据えた地域活性化に寄与している。
引き続き、市等と連携しながら街の賑わいを創出する役割に期待する。
- ・関係機関と連携をはかりながら地域活性化に係る取組を検討していることは評価できる。コロナ禍の影響で、観光振興が難しかった分、飲食店等に特化した支援を実施してきたことも首肯できる。コロナ禍が終息した後に観光振興等にどのように取り組んで行くのか、といった視点で、アフターコロナを視野に入れた検討も必要と思料。
- ・地域活性化、観光振興に寄与する取組は評価できる。

Ⅲ. 支援力向上に向けた取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

実施計画

- (1) 金融機関、行政機関と情報交換会を実施し、新たな需要の開拓を進める基盤と龍野地域において幅広い事業所支援を可能とする体制を構築する。
- (2) 近隣商工会議所(龍野・姫路・相生・赤穂・豊岡)と支援ノウハウ向上のための情報交換会を年間3回開催し支援力向上を図る。

実施内容
<p>(1)連絡会・情報交換会</p> <p>①商工行政連絡会の開催 たつの市産業部との連絡会を実施。 ・12月2日(水)</p>
評価
<ul style="list-style-type: none"> ・商工行政連絡会が開催されたことは確認できる。 ・新型コロナの影響を受け、連絡会・情報交換会の開催は限定的なものとなっているものの、日常的に連携、情報交換は実施されており、積極的に支援力向上に取り組んでいる。 ・行政機関との情報共有、連携体制が整っており評価できる。 ・他の支援機関との連携や経営指導員の資質向上のための研修会等へ積極参加されており評価できる。 ・コロナ禍ではあるが、引続き積極的な情報交換をお願いしたい。 <p>今後もより一層連携を強化し、継続して情報交換をする必要があり、それぞれの視点から住民や企業ニーズを汲み取っていくことで、より効果的な支援が可能になると考えます。</p>
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること
実施計画
<p>(1)各機関が主催する経営指導員等研修会に参加し資質向上を図る。</p> <p>(2)WEB研修等を受講し小規模事業者のニーズに対応した知識を習得する。</p>
実施内容
<p>(1)経営指導員等研修会への参加</p> <p>①経営指導員等研修会(経営発達支援) 日 時 5月13日(水)10時～16時 場 所 龍野商工会議所3階事務所(オンライン受講) 受講者 1名</p> <p>②経営指導員等研修会(売上向上) 日 時 7月17日(金)10時～16時 場 所 神戸商工会議所 参加者 2名</p> <p>③経営指導員等研修会(事業承継) 日 時 7月29日(水)10時～16時 場 所 神戸商工会議所 参加者 1名</p> <p>④経営指導員等研修会(補助金) 日 時 8月24日(月)10時～16時 場 所 龍野商工会議所3階事務所(オンライン受講) 受講者 2名</p> <p>⑤経営指導員等研修会(税務・会計) 日 時 9月4日(金)10時～16時 場 所 龍野商工会議所3階事務所(オンライン受講) 受講者 1名</p> <p>⑥経営指導員等研修会(BCP) 日 時 10月6日(火)10時～16時 場 所 龍野商工会議所3階事務所(オンライン受講) 受講者 2名</p>

⑦経営指導員等研修会(創業)

日 時 10月22日(木)10時~16時

場 所 龍野商工会議所3階事務所(オンライン受講)

受講者 2名

(2)経営改善・事業再生研修eラーニング

随時受講

効果測定 経営指導員等6名が実施(令和2年9月1日(火)~7日(月))

以上

評 価

- ・経営指導員等の資質向上等に向けた取組みがなされていることが確認できる。
- ・経営指導員等の幅広い分野での知識習得に向けて、積極的に研修会、eラーニングへ参加しており、非常に評価できる。
- ・指導員による公平な支援の実現のためには幅広い分野において最新の知識、情報の習得が必要不可欠であり、研修の機会は引き続き確保されたい。
各種研修会に積極的に参加するとともに、会議所内部での勉強会を毎月実施するなどしており評価できる。
- ・他の支援機関との連携や経営指導員の資質向上のための研修会等へ積極参加されており評価できる。
- ・オンライン受講など工夫し、経営指導員の資質向上のため、努力がみられ評価できる。
今後も新たな知識と経験が必要であり、すぐに身に付くものではないため、引き続き資質向上を図って頂きたい。

総 評

コロナ禍といった特殊な環境のなか、経営発達支援計画に基づき、積極的に中小零細事業者の経営指導にあたっておられることに感謝申し上げますとともに、ぎりぎりの経営を余儀なくされている事業者に寄り添いつつ、引き続き、地域経済の活性化と、地域産業の振興に取り組んでいただきたくお願い申し上げます。

昨年も申し上げましたが、単にK P Iを達成するだけでなく、K P I達成により得られるアウトカムや、地域事業者、地域経済への効果といった点をより重要視し、以降も活動していただければと思います。